



ORCHESTRA HOLDINGS

株式会社Orchestra Holdings

2017年12月期第2四半期
決算説明資料

証券コード：6533

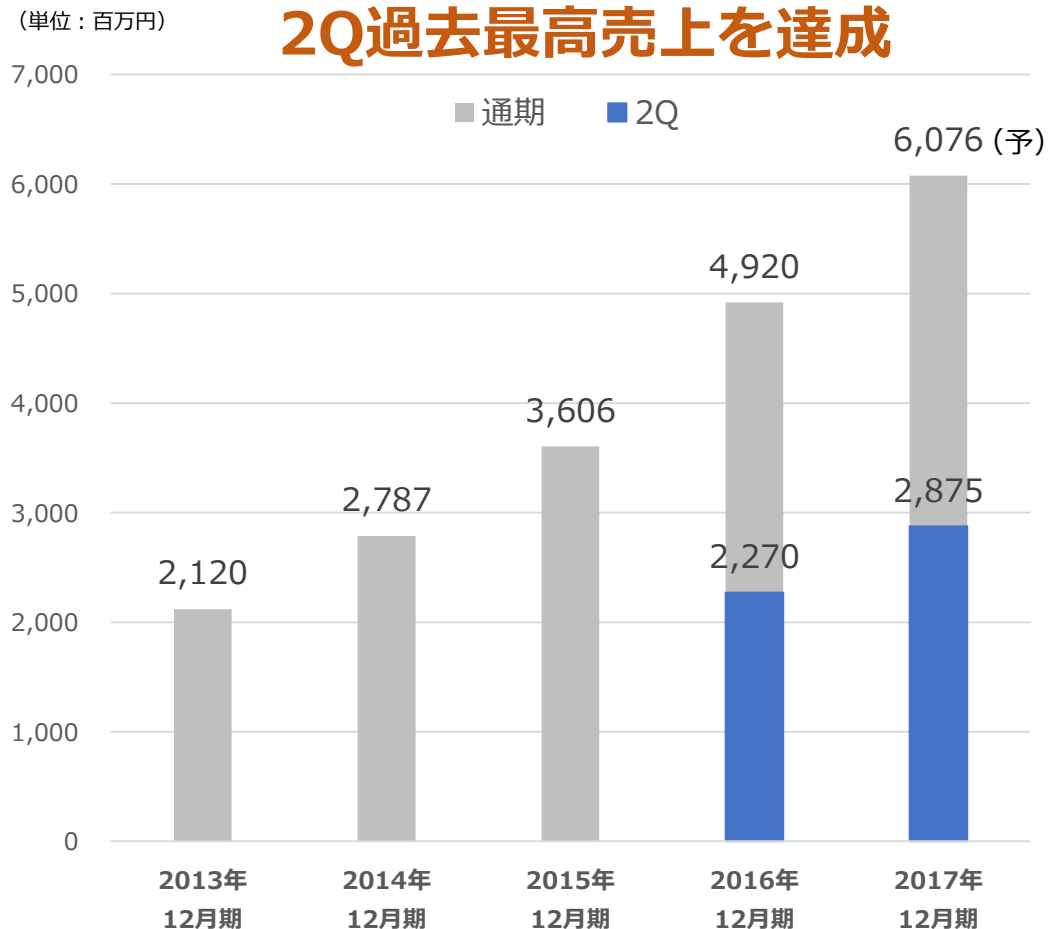
- 1 2017年12月期第2四半期 決算概要**
- 2 2017年12月期 業績見通し**
- 3 2017年12月期 事業・戦略の取り組み**

1. 2017年12月期第2四半期 決算概要

2017年12月期第2四半期 連結業績ハイライト

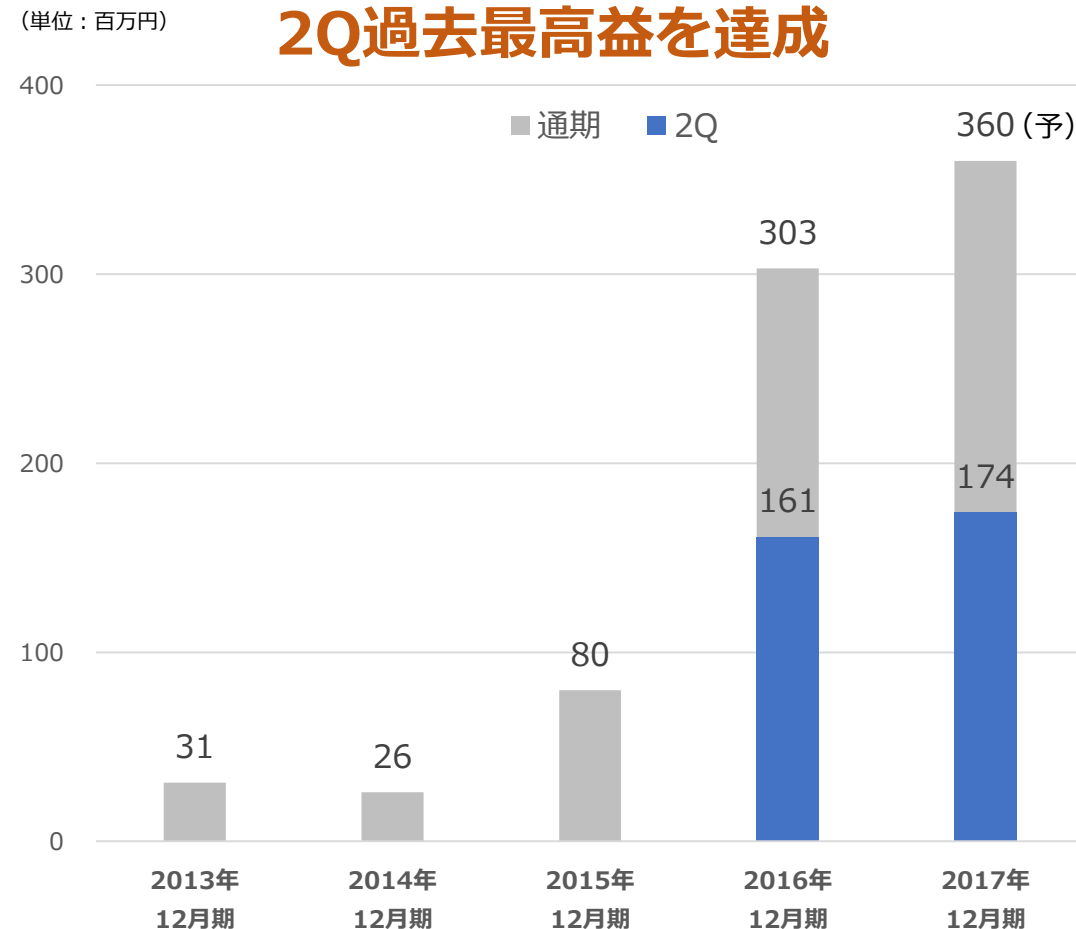
売上高

YoY 26.7%増
2Q過去最高売上を達成



営業利益

YoY 8.3%増
2Q過去最高益を達成



* 2015年12月期より連結決算数値を記載しております

* 2017年12月期通期の数値は予算数値を記載しております

2017年12月期第2四半期 連結業績ハイライト



ORCHESTRA HOLDINGS

◆ 2Q過去最高売上を更新

◆ スポット費用の発生により販管費は増加するも、2Q過去最高営業利益を更新

(単位：百万円)	2016年 12月期2Q (実績)	2017年 12月期2Q (実績)	前年同期比	
			(金額)	(増減率)
売上高	2,270	2,875	605	26.7%
売上総利益	417	527	110	26.5%
売上総利益率	18.4%	18.4%		
販売管理費	255	353	97	37.9%
販売管理費率	11.3%	12.3%		
営業利益	161	174	13	8.3%
営業利益率	7.1%	6.1%		
経常利益	160	173	13	8.6%
経常利益率	7.0%	6.1%		
親会社株主に帰属する 四半期純利益	113	112	0	-0.5%
当期純利益率	5.0%	3.9%		

2017年12月期第2四半期 事業別業績



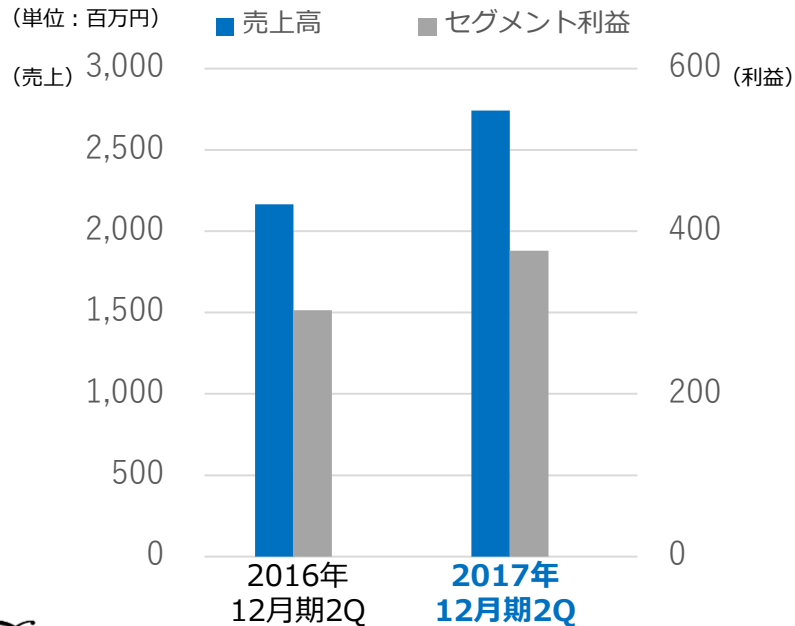
ORCHESTRA HOLDINGS

- ◆デジタルマーケティング事業では市場成長率を超えて伸長
- ◆ライフテクノロジー事業では2Q会計期間でセグメント利益を確保

デジタルマーケティング事業

売上高: 2,741百万円
(前年比+26.6%)

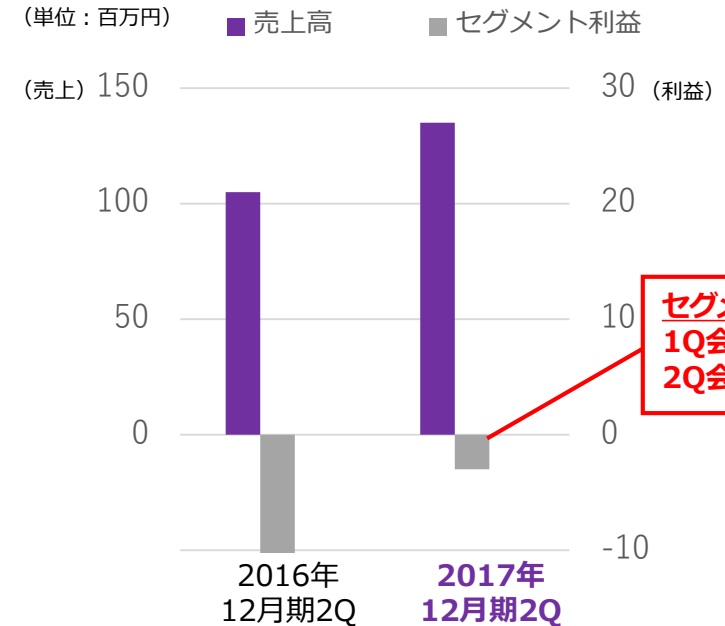
セグメント利益: 375百万円
(前年比+23.9%)



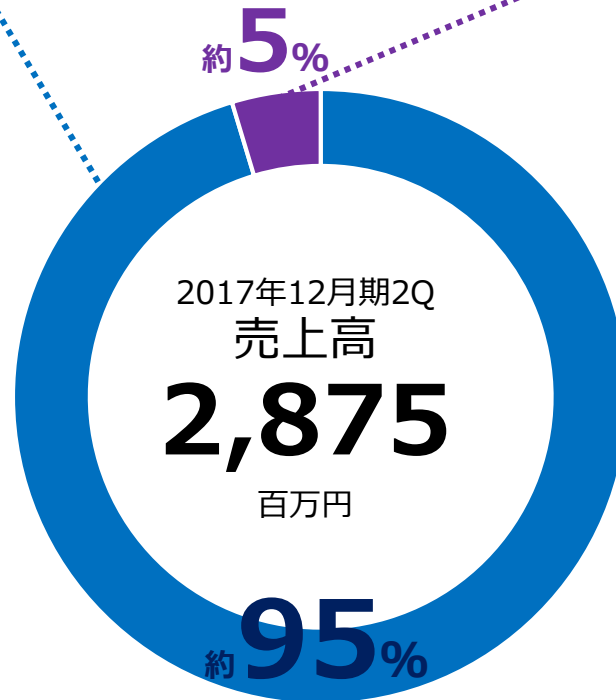
ライフテクノロジー事業

売上高: 134百万円
(前年比+28.3%)

セグメント利益: ▲2百万円
(前年比+8百万円)



セグメント利益内訳
1Q会計: ▲6百万円
2Q会計: 3百万円



2017年12月期第2四半期 営業利益増減分析

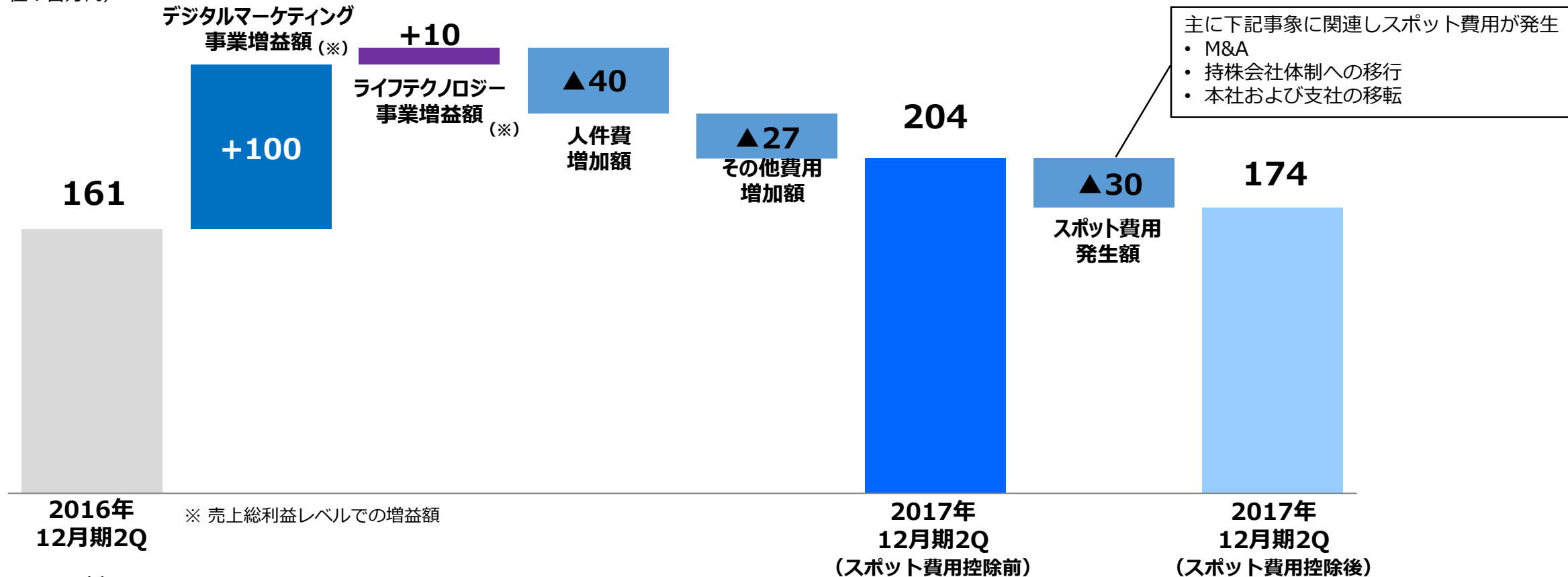


ORCHESTRA HOLDINGS

◆デジタルマーケティング事業の増益とライフテクノロジー事業の損益改善が寄与、スポット費用控除前ベースで前年同期比43百万円（約+27%）の増益

対前年同期比 営業利益増減分析

(単位：百万円)



◆利益の内部留保による自己資本の充実により、より強固な財務体質に

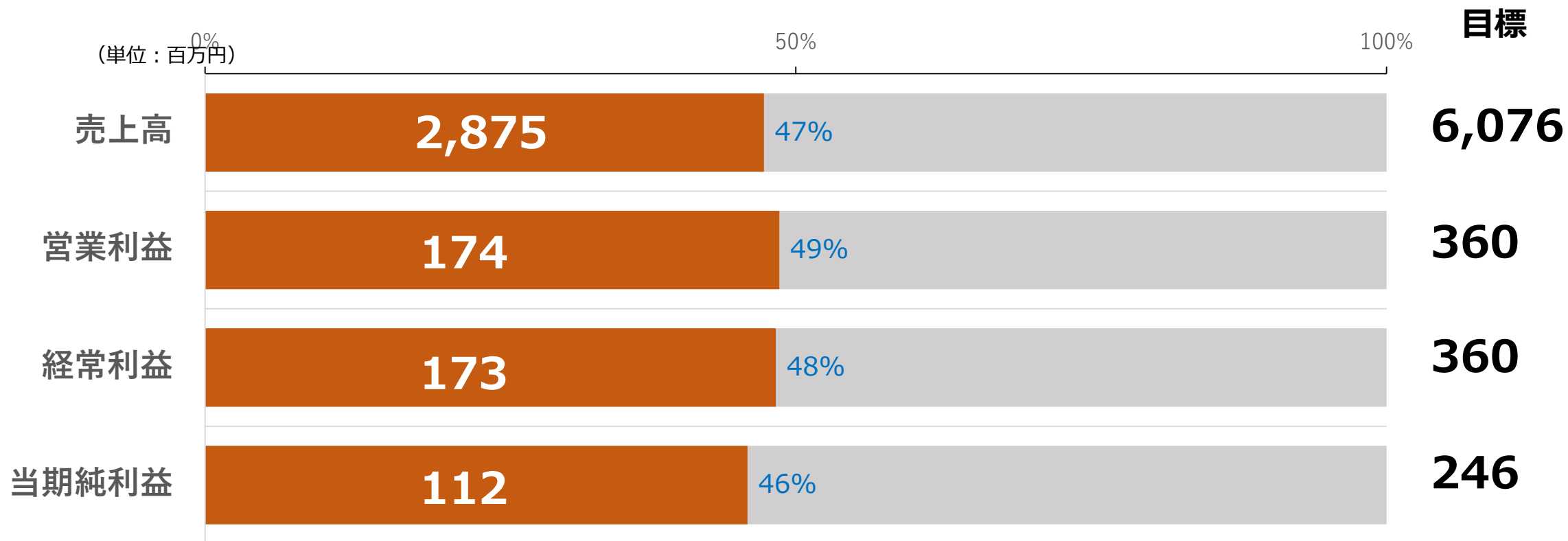
(単位：百万円)

	2016年12月期	2017年6月末	増減額
流動資産	1,516	1,424	▲ 92
固定資産	66	231	165
有形固定資産	5	33	28
無形固定資産	18	91	72
投資その他の資産	42	107	64
資産合計	1,582	1,655	73
負債合計	1,042	1,000	▲41
流動負債	1,000	977	▲23
固定負債	41	23	▲17
純資産合計	539	654	115
負債・純資産合計	1,582	1,655	73

2.2017年12月期 業績見通し

◆売上高・利益ともに順調に進捗

連結業績の進捗



2017年12月期 連結業績見通し



- ◆ 売上高・経常利益ともに20%超の増収増益を予想
- ◆ 営業利益率・経常利益率は概ね前期同水準を見込む

(単位：百万円)	2016年	2017年	前期比	
	12月期 (実績)	12月期 (予想)	(金額)	(増減率)
売上高	4,920	6,076	1,156	23.5%
売上総利益	869	1,103	234	26.9%
売上総利益率	17.7%	18.2%		
販売管理費	565	742	177	31.2%
販売管理费率	11.5%	12.2%		
営業利益	303	360	57	19.0%
営業利益率	6.2%	5.9%		
経常利益	298	360	62	20.6%
経常利益率	6.1%	5.9%		
親会社株主に帰属する 当期純利益	199	246	47	24.0%
当期純利益率	4.0%	4.1%		

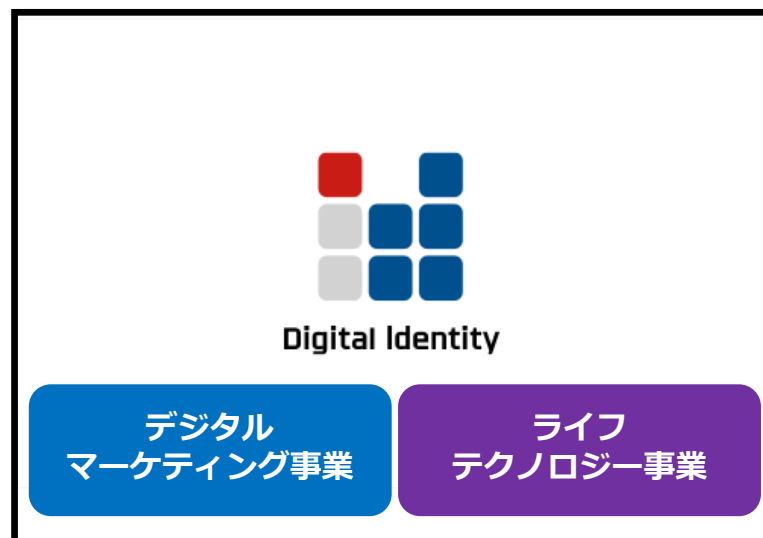
3. 2017年度12月期 事業・戦略の取り組み

持株会社体制について

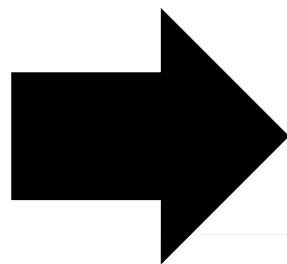


ORCHESTRA HOLDINGS

- ◆ 持株会社体制へ移行し、商号を変更
- ◆ あゆた社の株式を取得し子会社化（PLは第3四半期より連結取込）



持株会社化し、
商号を変更



会社分割により新設



会社分割により新設



株式取得により子会社化

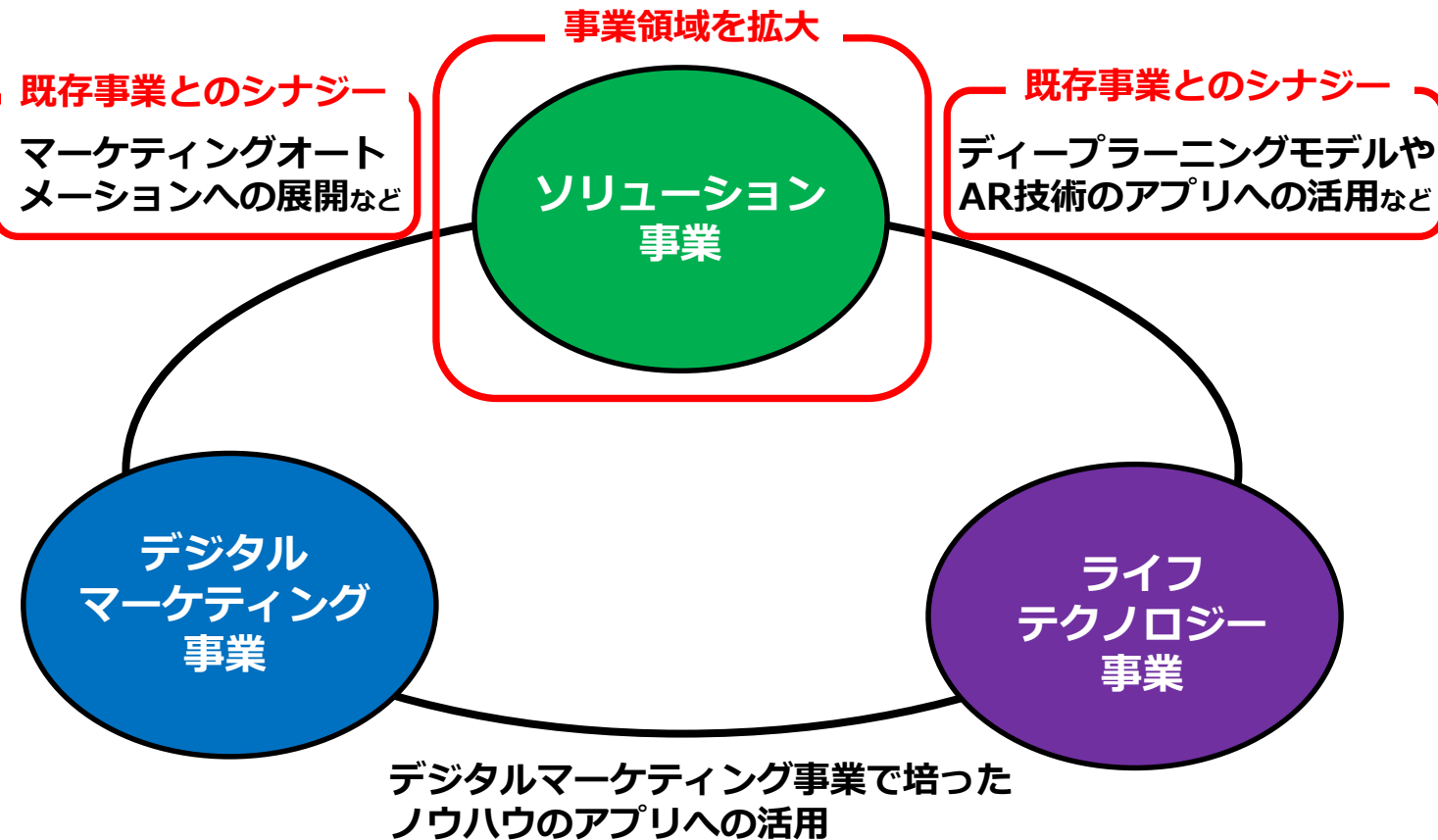
M&Aの活用 ～成長性・収益性の高い新事業領域へ積極的に挑戦～



ORCHESTRA HOLDINGS

- ◆ソリューション事業を3つ目の柱に
- ◆各事業間のシナジーにより更なる成長を見込む

事業領域の拡大と既存事業とのシナジー



インベストメントサマリー

<あゆた社の株式取得>

- AR アプリの開発実績やディープラーニングモデルの構築など、先端技術知識を有するあゆた社を株式を取得
- 第2 四半期に株式取得を実施、PLは第3 四半期より連結取込

<セレッテ社より事業譲受>

- 各種アプリ開発等、豊富な開発実績を有するセレッテ社の開発チームをあゆた社に迎え、開発体制を更に強化
- 第3 四半期に事業譲受を実施、PLは第3 四半期より連結取込



ORCHESTRA HOLDINGS

Vision

創造の連鎖

- 事業を通じて創造の志士を輩出し続ける -

将来の見通しに関する注意事項

- ◆ 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
- ◆ 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。
- ◆ 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- ◆ 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。